

飲料メーカーG社様

カップ飲料を工場～センター間で共同配送

生産委託工場への生産指示業務の一部代行にも対応

チェーンストアやCVS（コンビニエンスストア）各社が開発に力を入れ、年々店頭に並ぶアイテムの数が拡大傾向にあるPB（プライベートブランド）のカップ飲料。SBSフレックは、チルド扱いであるカフェオレやミルクティーといったカップ飲料を対象にした共同配送サービスを全国展開しております。



例えば、CVS 向けのPBカップ飲料では、各地の工場から製品を集荷し、コンビニの物流センターに納品するまでの輸送業務を受託しております。物流センターには工場から直接納品するほか、当社の物流センターで他のNB（ナショナルブランド）チルド飲料などと積み合わせし（共同配送化）納品しております。

共同配送のメリットは、届け先の共通する複数の製品を積み合わせ配送することで、配送トラック台数の減少（社会問題化されているドライバー不足対応）やトラック一台当たりの積載率を向上し、お客様の支払い物流コスト削減に貢献できる点です。今回の取り組み事例では、当社の既存の配送インフラを有効活用したご提案を行い、採用されることになりました。



また、このプロジェクトでは、当該品の配送のみならず、各商品の出荷趨勢や出荷許容期限に基づき、当社の全国各地区物流センターでの在庫管理（生産バッチ含む）は勿論のこと、お客様が委託生産工場に対して、生産指示を行う際の補完的業務等も行っています。